



星のたより

2026(令和8)年

7月号

Vol.382



☆今月の豆知識☆ **い**ろいろな形が楽しい「メシエ天体」。期間展示で紹介しているので、じっくりと見ていってね。「そもそもメシエ天体って何？」や天文職員さん「いち押し」のメシエ天体などをわかりやすく展示しているよ。103cm大型望遠鏡を使った観望会でもメシエ天体が登場するから、みんなの目で確かめてね。さじアストロパークのYoutubeチャンネルにも「メシエマラソン in さじ」の映像があるからチェックしてね。

イベント情報 ★★★★★★★★★★★★★★

親子で楽しむ星の講座「夏の大三角 星座額を作ろう」

日時：2026年7月12日(日)14:15~15:45

参加費：一般(高校生以上)300円(入館料として)、中学生以下無料
定員：10組(予約が必要です)

小さな額の中に色とりどりのシールを使って星座などの形を作り、オリジナル星座額を作ります。



M42 オリオン大星雲

☆期間展示☆

さじアストロパークコレクションシリーズ②「メシエ天体」

日時：6月17日(水)~12月6日(日)まで

場所：さじアストロパーク

1994年7月オープン以降これまで、さじアストロパークが記録した星や天文現象の写真展示の第2弾。「メシエ天体」の写真を解説とともに展示します。

★★★今月の開館情報★★★

☆お得な期間限定メニュー☆

プラネタリウムでの星座解説と
天体観察会の2本立て

日時：6月5日(金)~7月16日(木)

20時からの天体観察会が、プラネタリウムでの星座解説と望遠鏡による観察会の2本立てとなります。

さじアストロパーク・佐治天文台

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

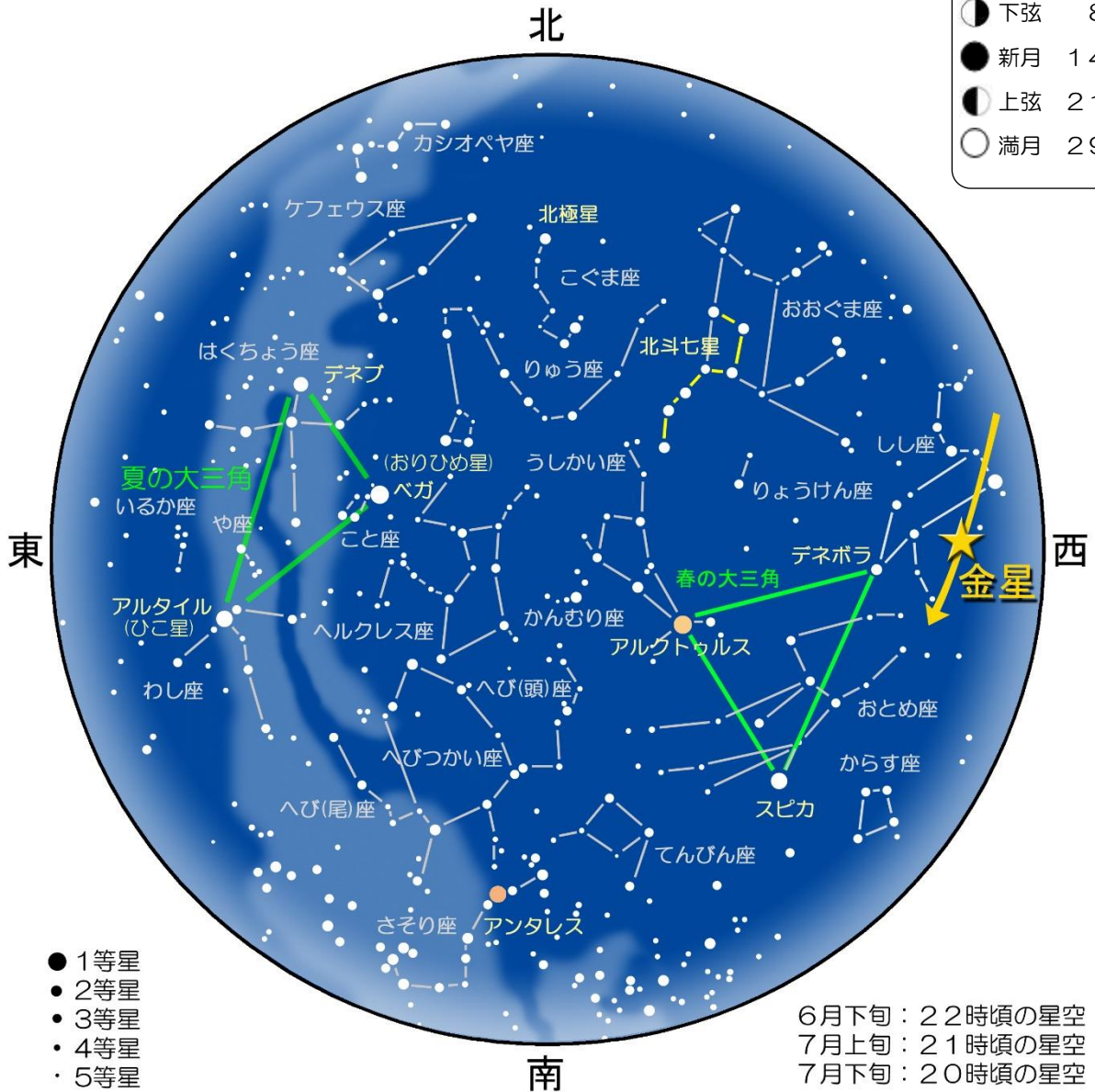
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp

2026年7月							開館時間 10:00~17:15 (金・土~22:00) 夜間予約 19:00~21:00 観望会20:00~
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
28	29	30	1	2	3	4	特別イベント
5	6 休	7	8	9	10	11	
12	13 休	14	15	16	17	18	
19	20	21 休	22 休	23	24	25	
26	27 休	28	29	30	31	1	
2	3	今月のイチオシ		天の川			
夜の観望会 やっています	夜の観望会 予約OK	※イベント・天候などにより変更することがあります。 最新情報はHPをチェック					

2026年7月の星空

今月の月の暦	
☾ 下弦	8日
● 新月	14日
☽ 上弦	21日
☾ 満月	29日



☆気温も高くなり夏休みも始まるので星空を見上げるチャンスも増えるのではないのでしょうか？

蚊取り線香や虫よけスプレーを忘れずにのんびり星空を楽しみましょう！


☆西の空に宵の明星「金星」が輝いています。徐々に明るさが増してきていますよ。西の空には「春の大三角」が、東の空には「夏の大三角」と同時に見えています。二つの大三角の形やそれぞれの星の明るさなど比べてみるチャンスですね。夏の大三角から南の空の「さそり座」にむけて「夏の天の川」が雄大な姿を見せています。よく晴れた月がない日は天の川チャンス！暗さに目が慣れてくると本当に川が流れているような光の帯が見えてくるでしょう。大きな川で分かれた「おりひめ星」と「ひこ星」をみて七夕伝説に思いをはせるのも風流ですね。

フラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など最新情報は、ホームページ&YouTube 各種SNS(X、Facebook、インスタ)をチェック



発行:さじアストロパーク 鳥取市佐治町高山 1071-1

やかんかんぼうかい てんたいかんさつかい 夜間観望会(天体観察会) 103cm 大型望遠鏡で星空観察

プラネタリアムでの星座解説と 天体観察会の2本立て	6月5日(金)~7月16日(木)	
星の集まりM13 (公開天文台 100 周年記念)	3(金)、10(金)、11(土)、17(金)~19(日)	
こと座の1等星・ベガ	24(金)、25(土)	
こと座のドーナツ星雲 M57	31(金)	
観望会で月がよく見える	19(日)、20(月・祝)、23(木)~25(土)	
観望会で満天の星が楽しめる	3(金)~5(日)、7(火)~12(日)、14(火)~16(木)	

こんな天体が見ごろです(テーマ:夏の星たち) M13、M57

M13


種類: 球状星団

星座: ヘルクレス座

明るさ: 5.8等

距離: 2万5100光年

ヘルクレス座の中にある球状星団です。50万個以上の恒星が集まり、その直径は100光年以上とされています。北天ではもっとも大きく見られる球状星団で、見かけの大きさは満月の3分の1ほどあります。天気がよければ、双眼鏡でもぼんやりとした丸い雲のように見えます。



アルクトゥルス


種類: 恒星

星座: うしかい座

明るさ: 0.0等

距離: 37光年

オレンジ色にまぶしく光る、その輝きは絶品です！うしかい座の1等星で、ひときわ明るく輝いています。北斗七星の手で持つところを伸ばした先にあり、「春の大曲線」や「春の大三角」の1つでもあります。本当は太陽の16倍もある巨大な星です。



M57


種類: 惑星状星雲

星座: こと座

明るさ: 9.3等

距離: 2600万光年

「ドーナツ星雲」の名前のおり、輪っかのカタチに見える星雲です。太陽くらいの重さの星が一生を終えようとしている姿で、中心の星から噴き出したガスが星の光(紫外線)に照らされ、蛍光灯と同じ仕組みで光っています。ガスは時速7万km以上のスピードで今もどんどん広がっており、やがて宇宙空間へと消えていきます。



スピカ


種類: 恒星

星座: おとめ座

明るさ: 1.0等

距離: 250光年

おとめ座のモデルのひとり、ギリシア神話に登場する農耕の女神・デーメーテルが、左手に持つ麦の穂に輝く1等星です。古代ギリシア語で「とがったもの(穀物の穂先)」を意味する言葉が名前の由来とされています。

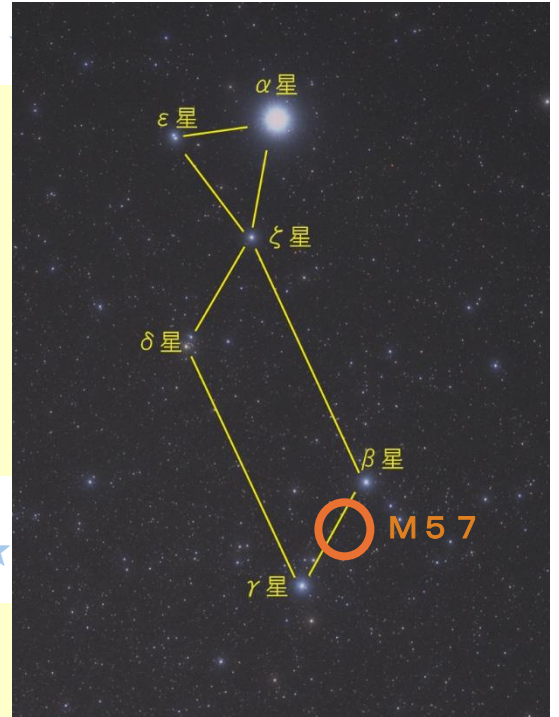


こんげつ 今月のイチオシ星座

こと座

み 見つけ方

7月の夜8時～9時ころに東の空を見上げ、明るい星を3つ見つけて大きな三角を作ってください。これが「夏の^{だいさんかく}大三角」で、その頂点（西側の星）にある星がこと座の一等星「ベガ」です。こと座のα星でありこと座をたどる目印になります。ベガのすぐ下の4つの星とベガを結ぶとこと座になります。



せいざ ゆらい しんわ 星座の由来・神話

こと座は日本の琴ではなく西洋の竖琴です。ギリシャ神話では音楽の名手オルフェウスの竖琴として登場します。また一等星ベガはわし座の一等星アルタイルと共に七夕の星として知られています。ベガは織姫星、アルタイルは彦星となり天の川の両岸で輝いています。七夕は伝統行事ですので全国各地でイベントが行われます。地域によっては8月7日を月遅れの七夕として一大イベントを行っているところもあります。仙台の七夕は有名です。

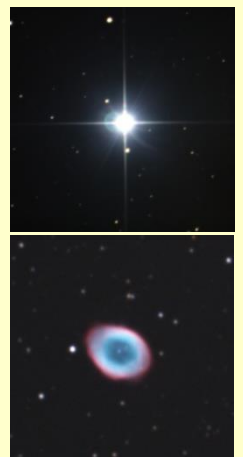
おも てんたい 主な天体

★ベガ（恒星）

こと座の1等星ベガです。きれいな白い輝きに注目です。地球から光のスピードで25年（25光年）のところにあります。

★惑星状星雲「M57」

こと座の天体といえばM57です。その形状からドーナツ星雲とかリング星雲などの愛称で呼ばれています。103cm大型望遠鏡でみるとしっかりしたリング状の星雲としてみることができます。観察会では「ドーナツを探してみよう」というと子供も頑張ってお観察してくれます。



ここに注目！
イチオシ
ポイント！

ベガのきれいな白い輝きは絶対に103cm大型望遠鏡で見てください。特に空の状態がよい時のベガの輝きは心洗われます。

プラネタリウムのお知らせ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ほんぐみ うちゅう ぎもん こた オリジナル番組 「宇宙の疑問にズバリお答え！」

6月17日(水)～7月20日(月)のリバイバル投影です



だれ いちど ぎもん おも うちゅう なぞ ほし
誰でも一度は疑問に思う宇宙の謎「星は何個あるか?」「宇宙人はいるか?」について、ご紹介いたします。

まんてん ほし なんこ 満天の星は何個ある?

まんてん ほし とき よぞら なんこ
満天の星を目で見上げた時、夜空には何個の星が見えるのでしょうか? 正解は・・・、
ばんぐみ
番組の中で!

- ① 300個
- ② 3000個
- ③ 30000個

うちゅう ほし なんこ 宇宙に星は何個ある?

うちゅう たいよう じぶん ほし なんこ
宇宙には、太陽のように自分で光る星は何個あるのでしょうか? 地球からどんどん離れていくと、太陽を中心とした天体の集まり「太陽系」が見えてきます。さらに離れていくと「太陽」は「銀河系(天の川銀河)」にある2000億個の星の1つであることがわかります。そして、銀河系(天の川銀河)は、宇宙に2兆個ほどある銀河の1つなのです。銀河に平均1000億個の星があるとすると、宇宙にある星の数は、1000億個×2兆個=???個!

投影開始時刻	平日	10:30～	なし	14:00～	16:00～
	土・日・祝	10:30～	12:30～	14:00～	16:00～

投影時間(約45分間) 前半(約25分): 専門職員による今夜の星空生解説
後半(約20分): オリジナル番組「宇宙の疑問にズバリお答え！」

プラネタリウム観覧料 一般(高校生以上)300円、小中学生200円(入館料別)

※イベントや団体利用などで開始時刻が変わる場合があります。
最新情報は [HP](#) をご確認ください。

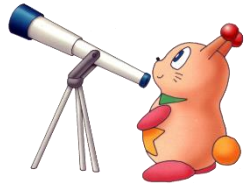
イベント情報 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「第33回七夕・星まつり」

日時：2026年7月4日(土) 16:00~21:30

参加費：一般(高校生以上) 500円、小人(小中学生) 200円

※プラネタリウム影絵や星空観察会、工作コーナーも！コスモスマルシェも同時開催！



七夕とは？

七夕は「たなばた」または「しちせき」と読み、願い事を書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする行事です。七夕行事は万葉の時代にはすでに日本に伝わっていました。平安時代には公の行事となり、やがて一般にも広まりました。江戸時代には七夕行事が五節句の一つとなり、庶民の間にも広まって全国的に行われるようになりました。



なぜ短冊に願い事を書いて、笹や竹に飾るの？



裁縫や書道、詩歌などの手習いが上達するようにお祈りしたことが始まりで、のちに現在のようにさまざまな願い事を短冊に書くようになりました。笹や竹は生命力が強く、昔の言い伝えで神聖な力が宿っている、といわれています。また、神様が宿る植物とも考えられ、子供たちが健やかに成長できるように祈りを込めて、笹や竹が用いられるようになった、といわれています。また、笹や竹を川や海に流すのは、笹や竹に穢れを持って行ってもらうという意味があります。

七夕の星

これから天の川が見ごろとなってきます。その天の川の兩岸に七夕の星があります。音楽の名手オルフェウスが愛用していた美しい琴をあらわした星座が「こと座」です。白く輝く1等星のベガと4個の星で形作る小さな四辺形が目じるしの星座です。明るく輝く1等星のベガが「おりひめ星」です。ベガはアラビア語の「降りている(止まっている)鷲」が語源となっています。

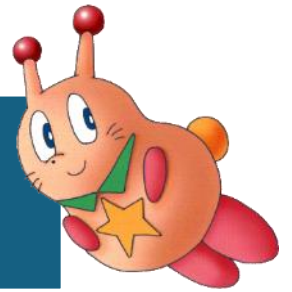


「わし座」は、大神ゼウスが変身した姿といわれています。天の川の東側にある3つの星が目じるしです。その中で明るく輝いているのが1等星のアルタイルです。このアルタイルが「彦星」です。アルタイルはアラビア語の「飛び鷲」が語源となっています。

雨が降った時にカササギが橋を作りますが、その場所ははくちょう座の羽のあたりです。最後に現実的なお話を。光の速さで、こと座のベガまでは25年、わし座のアルタイルまでは17年かかります。そしてこと座のベガからわし座のアルタイルまでは地球から光の速さで14.4年かかります。ですので、実際には「おりひめ」と「彦星」が会うことができるのはお互いが進めば真ん中で約7年後ということになります。

気軽に星空をたのしもう！

キラットちゃんの耳より情報コーナー★ 「天の川を撮影してみよう！」

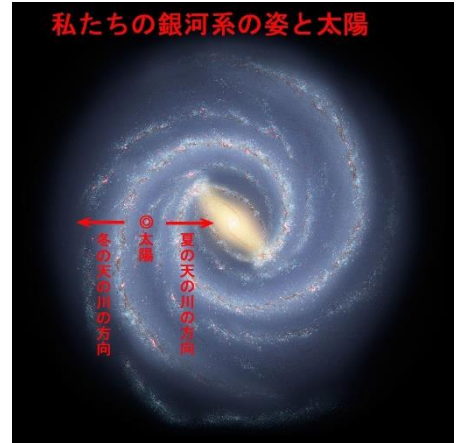


スマートフォンで星空や月が撮れる時代になりました。

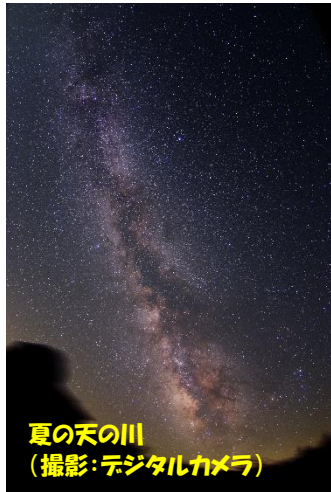
6月号の撮影方法に慣れたら天の川の撮影に挑戦しましょう！

天の川ってなに？

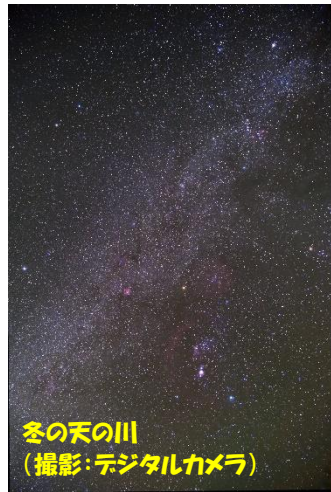
私たちの太陽系はもっと大きな星の集団である「銀河系（天の川銀河）」のなかにあります。銀河系はなんと2000億個以上の星が円盤状に集まっていて、地球から見ると星が多く集まっているところが川のように光って見えるので天の川と呼ばれています。



撮影のチャンスは夏？ ★★★★★★★★



夏の天の川
(撮影:デジタルカメラ)



冬の天の川
(撮影:デジタルカメラ)

★ 「夏の天の川」と「冬の天の川」

日本から見るとちょうど夏の時期に銀河系の中心方向を見ることができるので星がたくさん集まっている明るい天の川を見ることができます。これが「夏の天の川」と呼ばれています。反対に冬の時期は銀河系の円盤の外側の方が見えているので星が少なく「冬の天の川」はうっすらとしか見えません。スマホで撮影するには明るい「夏の天の川」を狙ってみましょう！

いざ、撮影してみよう！ ★★★★★★★★

★ 空の明るさと時間帯・方位が大切！

星座の星などよりも淡い天の川は空の条件に左右されます。具体的には「月明かりや街明かりがなく、日没から1時間半以上過ぎてしっかり空が暗いこと」、「薄雲やかすみがなく良く晴れていること」、そして「天の川が見えている時間帯であること」、この3つがそろわないと撮影は難しいです。5月号で紹介した「月齢カレンダー」などのアプリを活用しましょう！



南の直立した天の川
(撮影:iPhone 17 Pro)



南東の昇る天の川
(撮影:iPhone 17 Pro)

おすすめの時間帯と方位	
5月頃	24時～27時 (南東)
6月頃	23時～26時 (南東)
7月頃	21時～27時 (南)
8月頃	21時～26時 (南)
9月頃	20時～24時 (南西)
10月頃	19時～22時 (南西)

※方位は目安です。いろいろチャレンジしてみましょう

さそり座のしっぽのあたりから夏の大三角にかけて明るいところが広がっています。南東の空を狙うと斜めに昇ってくる姿、真南を狙うと頭の上まで続く直立した天の川が撮影できます。

かつどうほうこく アストロ活動報告



5月上旬から6月上旬にあった日々の出来事やちょっとした事件、イベントの様子をお伝えします。

超新星 SN2026kid 2026年5月6日(水)

地域おこし協力隊員の鈴木 匠さんのスマホをを 103cm 望遠鏡に付けて、佐野康男さんが NGC5907 に発見した超新星 2026kid を撮ってみると、見事に写りました！



画像はXなどで公開しています

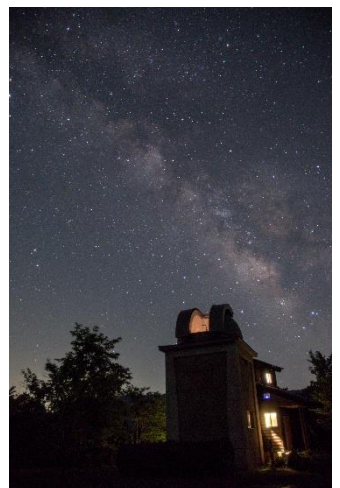


子持ち銀河 M51 2026年5月14日(木)

よく晴れた5月中旬の観望テーマは「子持ち銀河 M51」。103cm 望遠鏡で見ると、うっすらと渦巻きがわかりました。たくさんの方に銀河の渦巻きをご覧いただきました！

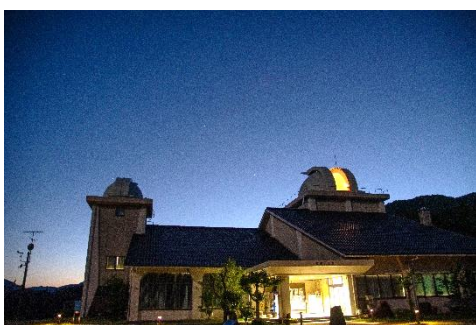
深夜の天の川 2026年5月15日(金)

深夜には夏の天の川が昇り、星空がにぎやかです。画像は午前2時頃、天体宿泊施設（星のコテージ）「ジュノー観測所」前で撮影した天の川です。



メシエマラソンチャレンジ 2026年5月17日(日)

公開天文台 100周年記念事業として、ライブ「メシエマラソンチャレンジ in さじ 春の銀河祭り」を行いました。YouTubeで録画映像がご覧いただけます！



金星と木星が並んで輝く 2026年5月30日(土)

20時頃の西空に、金星と木星が見えます。これから見かけ上、どんどん近づいていき、6月9日～10日には並んで輝きます。これから数日おきに見ると、2つの惑星がどんどん近づいていく様子を見ることができます！ まずは今夜、2つの惑星を眺めてみて下さい。

小さな満月 2026年5月31日(日)

5月31日(日)は今年一番地球から遠い満月でした。以前に撮った地球に近い満月（いわゆるスーパームーン）と比較的してみました。今年のスーパームーンは12月24日です。(Ori)

